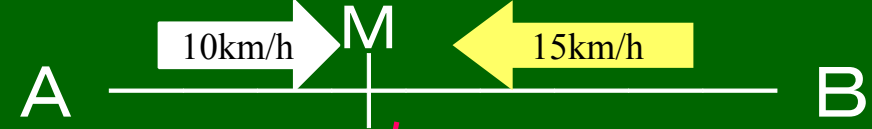


# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は        :        (速度に比例)。
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は        :        (速度に反比例)。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



(19) は「出来具合ワースト1」で、正答率は7% (8/113名)にとどまったとのことでした。逆に言えば、その正答は“卓越”(excellence)を意味します。ということで、今回も「立式不要」の“別解法”を考えます…どう登っても「頂上は頂上」!

を        :        に配分

なので        km。

       km。従って

       km。

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は        :        (速度に比例)。

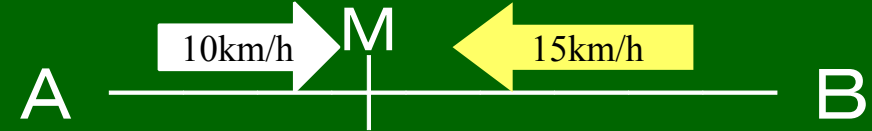
2. A⇔M往復は同距離なので、往と復の時間の比は        :        (速度に反比例)。

3. A⇔Mの所要時間(計3時間20分=200分)を        :        に配分すると        分(=2時間)と        分。

4. A→Mは10km/hで2時間掛る距離なので        km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の)        km。従ってA~Bの距離は20と30を足した        km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は        :        (速度に比例)。

2. A⇔M往復は同距離なので、往と復の時間の比は        :        (速度に反比例)。

3. A⇔Mの所要時間(計3時間20分=200分)を        :        に配分すると        分 (=2時間) と        分。

4. A→Mは10km/hで2時間掛る距離なので        km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の)        km。従ってA~Bの距離は20と30を足した        km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?

A ———— M ———— B

10km/h → (A to M)      ← (B to M) 15km/h

← (M to A) 15km/h      (M to B) 10km/h →

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は    :    (速度に反比例)。
3.  $A \leftrightarrow M$  の所要時間(計3時間20分=200分)を    :    に配分すると    分 (=2時間) と    分。
4.  $A \rightarrow M$  は10km/hで2時間掛る距離なので    km。
5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の)    km。従ってA~Bの距離は20と30を足した    km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?

A ———— M ———— B

10km/h →      ← 15km/h

← 15km/h      → 10km/h

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。

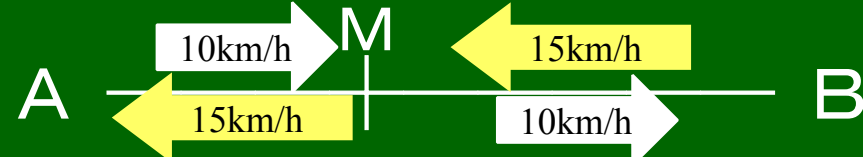
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。

3.  $A \leftrightarrow M$  の所要時間(計3時間20分=200分)を    :    に配分すると    分 (=2時間) と    分。

4.  $A \rightarrow M$  は10km/hで2時間掛る距離なので    km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の)    km。従ってA~Bの距離は20と30を足した    km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。

2. A⇔M往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。

3. A⇔Mの所要時間(計3時間20分=200分)を 3:2に配分すると 分 (=2時間)と 分。

4. A→Mは10km/hで2時間掛る距離なので km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の) km。従ってA~Bの距離は20と30を足した km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?

A diagram showing a horizontal line representing a road between points A and B. A vertical tick mark on the line represents point M. Four arrows indicate the direction and speed of travel: a white arrow from A to M labeled '10km/h', a yellow arrow from B to M labeled '15km/h', a yellow arrow from M to A labeled '15km/h', and a white arrow from M to B labeled '10km/h'.

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。

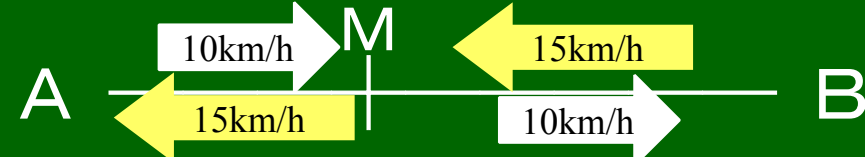
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。

3.  $A \leftrightarrow M$  の所要時間(計3時間20分=200分)を 3:2 に配分すると120分 (=2時間) と 分。

4.  $A \rightarrow M$  は10km/hで2時間掛る距離なので 20 km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の) 30 km。従ってA~Bの距離は20と30を足した 50 km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。

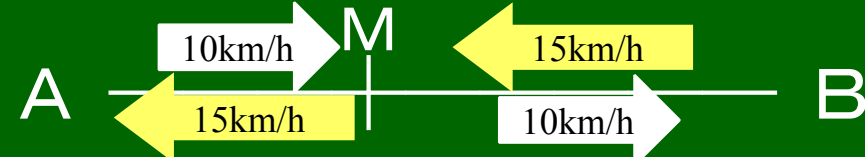
2. A⇔M往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。

3. A⇔Mの所要時間(計3時間20分=200分)を 3:2に配分すると120分 (=2時間)と80分。

4. A→Mは10km/hで2時間掛る距離なので 20 km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の) 30 km。従ってA~Bの距離は20と30を足した 50 km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?





# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。

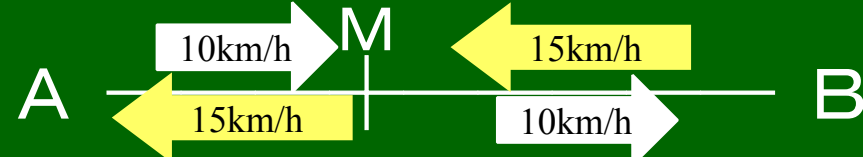
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。

3.  $A \leftrightarrow M$  の所要時間(計3時間20分=200分)を 3:2 に配分すると120分 (=2時間) と80分。

4.  $A \rightarrow M$  は10km/hで2時間掛る距離なので20km。

5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の) 30 km。従ってA~Bの距離は20と30を足した 50 km。

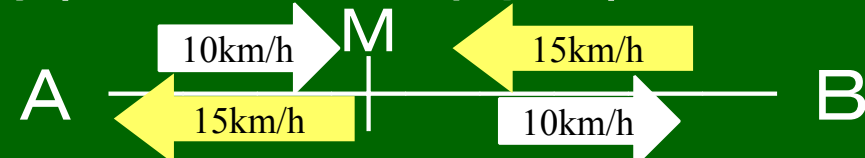
(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。
3.  $A \leftrightarrow M$  の所要時間(計3時間20分=200分)を 3:2 に配分すると120分 (=2時間) と80分。
4.  $A \rightarrow M$  は10km/hで2時間掛る距離なので20km。
5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の)30km。従ってA~Bの距離は20と30を足した50 km。

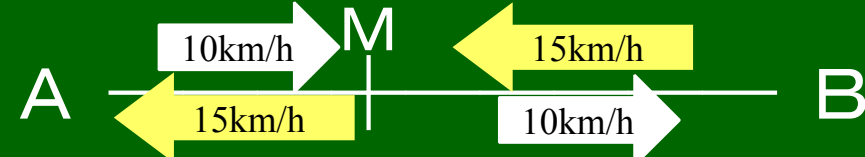
(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



## (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

1. 出発から出会い@Mまでの時間は同じなのでA~MとM~Bの距離の比は 2:3 (速度に比例)。
2.  $A \leftrightarrow M$  往復は同距離なので、往と復の時間の比は 3:2 (速度に反比例)。
3.  $A \leftrightarrow M$  の所要時間(計3時間20分=200分)を 3:2 に配分すると120分 (=2時間) と80分。
4.  $A \rightarrow M$  は10km/hで2時間掛る距離なので20km。
5. (1.より)20kmが2なら3は(その1.5倍の)30km。従ってA~Bの距離は20と30を足した50km。

(19) A・Bを同時に出発して10km/hと15km/hで進んだ2人がMで荷物交換後、出発点に戻った(A←Mは15km/h)。A⇔Mの往復に3時間20分掛ったならAB間は何km?



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「      の重さ/      の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)      倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が      になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は      。
- ⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の      g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
— B

分

n。

て

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「      の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)      倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が      になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は      。
- ⑤ $1/3=200\text{g}$ なら元の重さ $1=3/3$ は200の3倍の      g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
n?  
— B

分

n。

て

(立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)\_\_\_倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が\_\_\_になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は\_\_\_。
- ⑤ $1/3=200\text{g}$ なら元の重さ $1=3/3$ は200の3倍の\_\_\_g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
— B

分  
n。  
て

(立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が\_\_\_になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は\_\_\_。
- ⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の\_\_\_g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
— B

分

n。

て

(立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は\_\_\_。
- ⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の\_\_\_g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
— B

分

n。

て



(立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。
- ⑤ $1/3=200\text{g}$ なら元の重さ $1=3/3$ は200の3倍の\_\_\_g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
- B

分

n。

て

(立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。
- ⑤ $1/3=200\text{g}$ なら元の重さ $1=3/3$ は200の3倍の600g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
- B

分

n。

て

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、して

図式→立式と進まずとも「比」だけで解けま

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から  
になった。元の食塩水の重さは何グラム

濃度の単位:

% =

‰ =

ppm =

①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。

②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。

③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。

④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。

⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の600g。

- B

分

n。

て

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、して

図式→立式と進まずとも「比」だけで解けま

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から  
になった。元の食塩水の重さは何グラム

濃度の単位:

% = per cent

‰ =

ppm =

①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。

②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。

③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。

④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。

⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の600g。

B

分

n。

て

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、して

図式→立式と進まずとも「比」だけで解けま

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から  
になった。元の食塩水の重さは何グラム

濃度の単位:

% = per cent

‰ = per mille

ppm =

①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。

②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。

③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。

④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。

⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の600g。

- B

分

n。

て

(立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

正答率49.1%

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、して

図式→立式と進まずとも「比」だけで解けま

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から  
になった。元の食塩水の重さは何グラム

濃度の単位:

% = per cent

‰ = per mille

ppm = parts per million

①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。

②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。

③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。

④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。

⑤1/3=200gなら元の重さ1=3/3は200の3倍の600g。

- B

分

n。

て

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます。

※水分を200g蒸発させたら濃度が8%から12%  
になった。元の食塩水の重さは何グラム？

- ①そもそも「塩の重さ/塩水の重さ=濃度」。
- ②(23)では濃度が(8%→12%と)1.5倍になっている。
- ③濃度が1.5倍になるには(塩は蒸発しない=減らない  
ので)分母(=塩水の重さ)が2/3になることが必要。
- ④元の重さ1(=3/3)が2/3になる時に減る量は1/3。
- ⑤ $1/3=200\text{g}$ なら元の重さ $1=3/3$ は200の3倍の600g。

して  
だ2  
出発  
)。分  
0分  
1?  
- B  
分  
n。  
て

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、

図式→立式と進まずとも「比」だけで解けます

※水分を200g  
になった。元

他方、キリが悪くても問題が解ける方法が「一般的解法」。

①そもそも「塩

②(23)では濃

③濃度が1.5倍  
ので)分母(=

④元の重さ1(

⑤ $1/3=200g$ な

して  
だ2  
発  
分?  
B

分

o



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解ける

正答率36.3%

※水分を200g  
になった。

他方、キリが悪くても問題が解ける方法が「一般的解法」。例えば(20)※は連立方程式で解くのが一番楽でしょう。

①そもそも「塩

※長さ155mのP列車がトンネルを…。

②(23)では濃

③濃度が1.5倍  
ので)分母(

④元の重さ1(

⑤ $1/3=200g$ な

発  
分?  
B  
分  
o  
25

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解ける

正答率36.3%

※水分を200g  
になった。

- ①そもそも「塩
- ②(23)では濃
- ③濃度が1.5倍  
ので)分母(
- ④元の重さ1(
- ⑤ $1/3=200g$ な

他方、キリが悪くても問題が解ける方法が「一般的解法」。例えば(20)※は連立方程式で解くのが一番楽でしょう。

※長さ155mのP列車がトンネルを…。

ということで、問題を見て数値のキリがよければ(10と15とか8と12とか…)簡易解法を考え、

発  
分?  
B  
分

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解ける

正答率36.3%

※水分を200g  
になった。

①そもそも「塩

②(23)では濃

③濃度が1.5倍  
ので)分母(

④元の重さ1(

⑤ $1/3=200g$ な

他方、キリが悪くても問題が解ける方法が「一般的解法」。例えば(20)※は連立方程式で解くのが一番楽でしょう。

※長さ155mのP列車がトンネルを…。

ということで、問題を見て数値のキリがよければ(10と15とか8と12とか…)簡易解法を考え、よくなければ(155とか58とか…)一般的解法で解くのがオススメです。

発  
分?  
B  
分

# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題

「濃度算」も(23)※のように数値のキリがよければ、  
図式→立式と進まずとも「比」だけで解ける

正答率36.3%

※水分を200g  
になった。

①そもそも「塩

②(23)では濃

③濃度が1.5倍  
ので)分母(

④元の重さ1(

⑤ $1/3=200g$ な

他方、キリが悪くても問題が解ける方  
法が「一般的  
連立方程式で

「現実の問題」は大抵  
キリが悪いものだ。ビル  
が建つのも橋が架かる  
のも飛行機が飛ぶのも  
“代数”が在ってこそ。  
私(フワリズミー)や後  
輩のハイヤム(、  
数学者・天文学者)のこ  
も時には思いだしたまえ  
ヨ、…約千年後の諸君!

※長さ155mの  
ということ、  
て数値のキリ  
ば(10と15とか8と12とか  
簡易解法を考え、よくな  
ければ(155とか58とか…)  
一般的解法で解くのが  
オススメです。

(20)※は  
楽でしょう。  
トルを…。



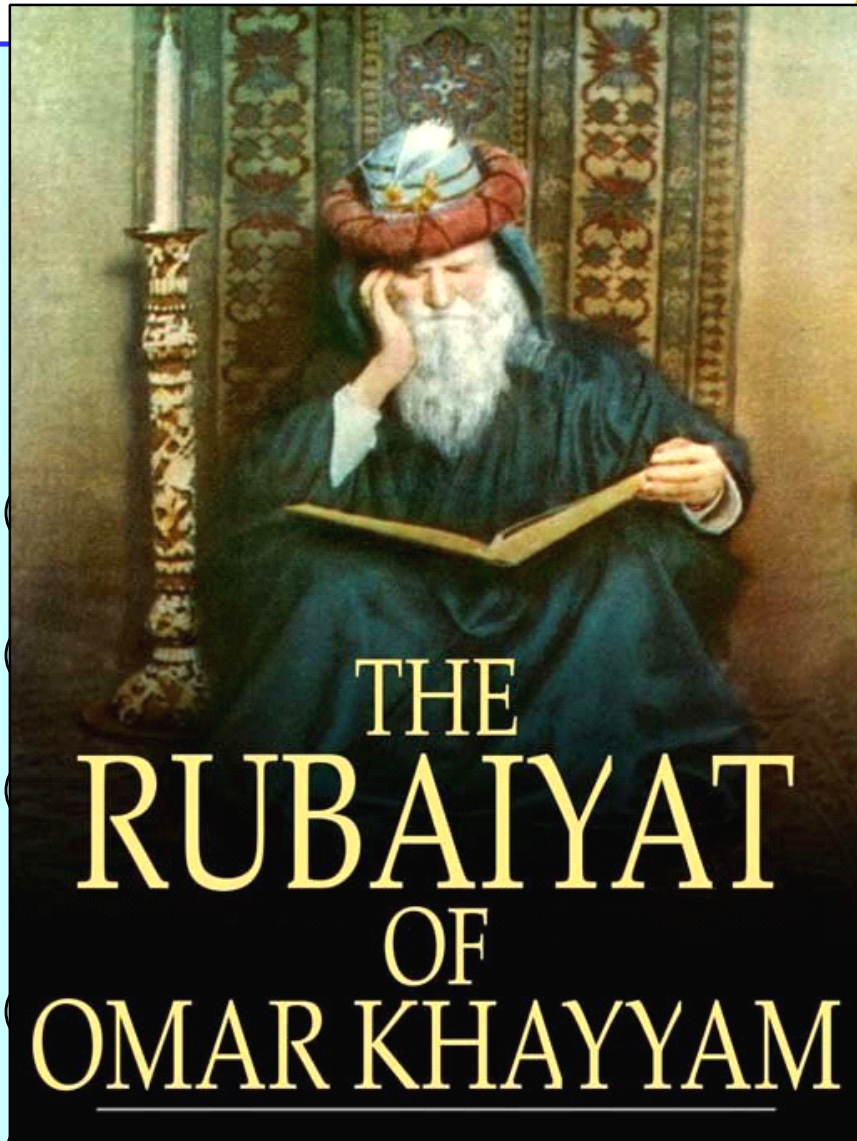
al-Khwārizmī (780?-850?)

て  
分?  
B

分



# (立式せず)「比」だけで解く“代数”問題



⑤  $1/3 = 200g$  は

オススメです。

数値のキリがよければ  
「比」だけで解ける

正答率36.3%

悪くても問題が解ける方

「現実の問題」は大抵  
キリが悪いものだ。ビル  
が建つのも橋が架かる  
のも飛行機が飛ぶのも  
“代数”が在ってこそ。

私(フワーリズミー)や後  
輩のハイヤーム(詩人、  
数学者・天文学者)のこ  
とも時には思いだしたま  
えヨ、…約千年後の諸君!

(20)※は  
楽でしょう。  
ナルを…。



al-Khwārizmī (780?-850?)

発  
分?  
B

分

# (立式)「比」だけで解く“代数”問題

正答率44.3%

SPI2に  
戻ると...

※水分を200g  
になった。

- ①そもそも「塩」
- ②(23)では濃
- ③濃度が1.5倍
- ④元の重さ1
- ⑤ $1/3=200g$ な

例えば、キリのいい「仕事算」(26)※は四則演算(足す・引く・掛ける・割る)で解けます。

※P管だけなら15分、P管とQ管なら10分で満水になる水槽。Q管だけなら何分？

- ①「1時間の仕事」はP管が\_\_ (単位=水槽)。
- ②P+Qだと\_\_。
- ③Pのみで4、P+Qが6ならQは\_\_ (← $6-4$ )。
- ④「1時間の仕事」が2のQがその半分の1の仕事に要する時間は(半時間の)\_\_分。

★(考えれば)「簡単な方法」が使える！

オススメです。

(立式)「比」だけで解く“代数”問題

正答率44.3%

SPI2に  
戻ると...

例えば、キリのいい「仕事算」(26)※は四則演算(足す・引く・掛ける・割る)で解けます。

※水分を200gにした。

※P管だけなら15分、P管とQ管なら10分で満水になる水槽。Q管だけなら何分？

①そもそも「塩」

①「1時間の仕事」はP管が4(単位=水槽)。

②(23)では濃

②P+Qだと  。

③濃度が1.5倍(分母)

③Pのみで4、P+Qが6ならQは  (←6-4)。

④元の重さ1

④「1時間の仕事」が2のQがその半分の1の仕事に要する時間は(半時間の)  分。

⑤ $1/3=200g$ な

★(考えれば)「簡単な方法」が使える！

オススメです。

(立式)「比」だけで解く“代数”問題

正答率44.3%

SPI2に  
戻ると...

例えば、キリのいい「仕事算」(26)※は四則演算(足す・引く・掛ける・割る)で解けます。

※水分を200gにした。

※P管だけなら15分、P管とQ管なら10分で満水になる水槽。Q管だけなら何分？

①そもそも「塩」

①「1時間の仕事」はP管が4(単位=水槽)。

②(23)では濃

②P+Qだと6。

③濃度が1.5倍  
ので)分母(

③Pのみで4、P+Qが6ならQは2(←6-4)。

④元の重さ1

④「1時間の仕事」が2のQがその半分の1の  
の仕事に要する時間は(半時間の)1分。

⑤ $1/3=200g$ な

★(考えれば)「簡単な方法」が使える！

オススメです。



(立式)「比」だけで解く“代数”問題

正答率44.3%

SPI2に  
戻ると...

例えば、キリのいい「仕事算」(26)※は四則演算(足す・引く・掛ける・割る)で解けます。

※水分を200gにした。

※P管だけなら15分、P管とQ管なら10分で満水になる水槽。Q管だけなら何分？

①そもそも「塩」

①「1時間の仕事」はP管が4(単位=水槽)。

②(23)では濃

②P+Qだと6。

③濃度が1.5倍(分母)

③Pのみで4、P+Qが6ならQは2(←6-4)。

④元の重さ1

④「1時間の仕事」が2のQがその半分の1の仕事に要する時間は(半時間の)  分。

⑤ $1/3=200g$ な

★(考えれば)「簡単な方法」が使える！

オススメです。

(立式)「比」だけで解く“代数”問題

正答率44.3%

SPI2に  
戻ると...

例えば、キリのいい「仕事算」(26)※は四則演算(足す・引く・掛ける・割る)で解けます。

※水分を200gにした。

※P管だけなら15分、P管とQ管なら10分で満水になる水槽。Q管だけなら何分？

①そもそも「塩」

①「1時間の仕事」はP管が4(単位=水槽)。

②(23)では濃

②P+Qだと6。

③濃度が1.5倍(分母)

③Pのみで4、P+Qが6ならQは2(←6-4)。

④元の重さ1

④「1時間の仕事」が2のQがその半分の1の仕事に要する時間は(半時間の)30分。

⑤ $1/3=200g$ な

★(考えれば)「簡単な方法」が使える！

オススメです。

# (立式)「比」だけで解く“代数”問題

正答率44.3%

SPI2に  
戻ると...

※水分を200g  
にした。

①そもそも「塩

②(23)では濃

③濃度が1.5倍  
ので)分母(

④元の重さ1

⑤ $1/3=200g$ な

例えば、キリのいい「仕事算」(26)※は四則演算(足す・引く・掛ける・割る)で解けます。

※P管だけなら15分、P管とQ管なら10分で満水になる水槽。Q管だけなら何分？

①「1時間の仕事」はP管が4(単位=水槽)。

②P+Qだと6。

③Pのみで4、P+Qが6ならQは2(← $6-4$ )。

④「1時間の仕事」が2のQがその半分の1の仕事に要する時間は(半時間の)30分。

★(考えれば)「簡単な方法」が使える！

オススメです。